

令和4年10月7日

令和4年度  
**「介護ロボット等活用ミーティング」開催のご案内**  
～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

### 1. 背景・目的

少子高齢化の進展により、介護人材の不足が課題となる中、高齢者・障害者福祉の現場ではケアの質の確保や現場での負担軽減、介護人材の確保などの観点から、福祉用具・介護ロボット等のテクノロジーの活用を推進した、生産性向上に資する取組みが実施されています。

こうした背景のもと、当協会では昨年度に続き、介護ロボット等(福祉用具や ICT 機器を含む。)の導入・活用に関する情報交換の場として、「介護ロボット等活用ミーティング(※)」を開催することと致しました。

本ミーティングでは、介護ロボット等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を目的と致します。

参加を希望する方は、協会ホームページからお申込みください。

(※)新型コロナウイルス感染症を予防するため、オンライン開催とさせていただきます。



### 2. 開催予定(予定)

全5回、下記の日付とテーマで開催致します。

※詳細は、別紙(日程表)をご覧ください。

11月				
14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
テクノエイド協会からオンライン配信いたします。				
13時～15時				
開催テーマ				
A	B	C	D	E
介護機器等を活用した <u>生産性向上の取組み</u> を考えよう	介護機器等の <u>安心・安全な利用</u> を考えよう	介護機器等を活用した <u>介護者の負担軽減、離職防止</u> を考えよう	介護機器等の <u>導入に伴う経営・費用対効果</u> を考えよう	介護機器等と <u>LI FEのデータ連携、重度化防止</u> を考えよう

## 1)内容

- ①介護ロボット等に関する最新情報(厚生労働省)
- ②介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み(1者)
- ③介護施設等による発表(2者)
- ④フリートーク(情報や課題の共有)

別紙参照

## 2)主な参加者

介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政 等

- 特別養護老人ホーム ○介護老人保健施設 ○有料老人ホーム ○グループホーム
- 軽費老人ホーム ○養護老人ホーム ○居宅介護サービス ○行政 等

## 3)定員

80名~100名程度(先着順)

※定員となりしだい、締め切らせていただきます。



## 4)開催方法

ズームミーティングを活用したオンライン開催とさせていただきます。



## 5)参加者申込み(無料・先着順)

参加申込みは、令和4年11月11日(金)17時までとさせていただきます。  
当協会ホームページから行ってください。



申し込み先(協会HP):

[http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab39\\_detial](http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab39_detial)



注)本ミーティングは、オンラインによるリアルタイム配信のみとなります。別の日には視聴できません。

## 3. 本件に関する問い合わせ先

公益財団法人テクノエイド協会 担当:谷田、松本、根石、五島  
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階  
電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885  
E-mail [robocare@techno-aids.or.jp](mailto:robocare@techno-aids.or.jp)

# 令和4年度 介護ロボット等活用ミーティング 日程表(案)

～ 本音で語ろう！ 介護現場で働くみんなの情報交換会 ～

1. 開催日	11月				
	14日(月)	15日(火)	16日(水)	17日(木)	18日(金)
2. 時間	13:00～15:00				
3. 場所	テクノエイド協会からオンライン配信いたします。 (※)新型コロナウイルス感染症を予防するため、オンライン開催とさせていただきます。				
4. 主なテーマ	A	B	C	D	E
	介護機器等を活用した生産性向上の取り組みを考えよう	介護機器等の安心・安全な利用を考えよう	介護機器等を活用した介護者の負担軽減、離職防止を考えよう	介護機器等の導入に伴う経営・費用対効果を考えよう	介護機器等とLIFEのデータ連携、重篤化防止を考えよう
5. 募集人数	80名～100名(先着順)				
6. 参加対象者	介護施設・事業所の施設長又は所長、介護主任(リーダー)、介護機器等の導入担当者、介護現場で介護機器等を取り扱う職員、行政 等				
7. 内容	(敬称略)				
セッション1 (13:00～14:10)	1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう				
	①介護ロボット等に関する最新情報など(10分)				
	介護現場における生産性向上の推進について ～介護ロボットの普及促進の取組等～ 厚生労働省老健局高齢者支援課 介護業務効率化・生産性向上推進室 介護ロボット政策調整官 佐々木憲太				
	②介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム 相談窓口の取り組み(20分)				
	介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームにおける相談窓口(全国17か所)の取り組み NTTデータ経営研究所 シニアコンサルタント 山内 勇輝				
	③介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分)				
	介護現場における介助指導と機器活用の実際と課題(仮称) 桜十字先端リハビリテーションセンター SACRA 田代耕一	コロナ罹患者の療養生活を見守り機器で支える(仮称) サービス付き高齢者向け住宅 リハ・ハウス来夢 矢代虎太郎	ICT化へ向けた取り組み、効果と課題(仮称) のんびり村通津、のんびり村花岡 安岡智量 他	福祉用具導入による費用対効果、経営者の立場から(仮称) なごやかハウス滝ノ水 濱田 信	IoT/AIを活用した科学的介護の提案(仮称) パナソニック(株) 山岡 勝
	自ら開発！「スマート介護プラットフォーム」(仮称) 社会福祉法人善光会 宮本隆史	福祉用具の活用とヒヤリハット事例について(仮称) 特別養護老人ホーム 砧ホーム 鈴木健太	ユニット型特養の業務課題解決、支援ロボットの実際(仮称) 介護老人福祉施設 よみうりランド花ハウス 橋本政彦 他	科学的介護を实践と経営効果(仮称) 株式会社日本総合研究所 紀伊信之	画像IoTで実現する科学的介護 コニカミノルタ株式会社 岡田 真和
個人ワーク (14:10～14:15)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理				
セッション2 (14:15～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう				

※新型コロナウイルス感染症を予防するため、オンライン開催とさせていただきます。詳しくは協会のHPを参照してください。

※各会場の定員は、80名～100名(先着順)とさせていただきます。(定員となりしだい締切させていただきます。)